

日本物理学会領域 2 役員会議 議事録案

日時：2023 年 9 月 16 日(水) 17:30–18:30

場所：A307 会場

参加者：藤堂（司会），長崎，本島，相羽，福田，四竈（書記），齋藤，佐々木，三瓶，菊池，徳澤，松山

報告・議論事項

- 1) 2023 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 2024 年 4 月からの領域代表，領域副代表の推薦
- 3) 2023 年春季大会 学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について
- 5) 2024 年春季大会シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会報告
- 7) 領域 2 での確認事項と議題
- 8) 講演件数の推移
- 9) 講演概要集提出率
- 10) その他

報告・議事内容

- 1) 2023 年 10 月からの役員体制・役割分担

役員体制・役割分担を確認した。

分担の決め方について以下を議論した：新任の役員は，基本的に退任する役員の役割を引き継ぐ。広報（ホームページ）担当は，これまで正 1 名（NIFS 所属の役員）+ 副 1 名（チェック役）だったが，正 1 名（NIFS 所属の役員）とし，役員全員でチェックを行う。3 学会合同世話人・チームとの合同セッション担当は，1 年目の役員が正，2 年目の役員が副（実質担当）だったが，2 年目の役員を正，1 年目の役員を副とする。

下記体制について運営会議に諮ることとした。

領域代表 藤堂 泰（核融合研）

領域副代表 長崎 百伸（京都大学）

運営委員（佐々木，三瓶，菊池，徳澤，松山，安部），役員（藪内，四竈，齋藤）

2024 年 10 月からの次期役員の候補 年内まで立候補待ち（領域代表まで連絡）

2024 年春季大会運営会議で審議

- 2) 2024年4月からの領域代表, 副代表の推薦  
運営会議に諮る. 10/23(月)までに推薦フォーム入力, 11月の領域委員会で承認予定.  
次期領域代表 長崎 百伸 (京都大学)  
次期領域副代表 比村 治彦 (京都工芸繊維大学)
- 3) 2023年春季大会学生優秀発表賞に関する報告  
応募者29名の中から, 以下5名を選出. なお, 2021年秋季大会から受賞回数の上  
限が2回までとされた.
- 吉野 舜太郎 氏 (東北大院情報)  
「特殊相対論的プラズマの拡張 MHD 近似の妥当性検証」
  - Zechen Lan 氏 (阪大レーザー研)  
「High-speed Atomic Thermometer using Single Shot of Laser-driven Neutron Pulse」
  - 韋 添允 氏 (阪大レーザー研)  
「The experiment demonstration of quasi-mono energetic deuteron acceleration by in-direct laser shot」
  - 矢ヶ崎 誇楠 氏 (名大院工)  
「NUMBER の再結合プラズマ生成実験における高励起準位からの発光の観測」
  - Joseph John Simons 氏 (SOKENDAI)  
「Utilization of Collisional-Radiative model to analyze Doppler-free spectra」
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について  
領域2の締切: 2023年10月20日(金)  
提出先: 領域副代表 長崎
- 5) 2024年春季大会シンポジウム・招待講演等の提案  
企画講演(0件), 招待講演(0件), 若手奨励賞受賞記念講演(最大2件), シンポジウム(0件). 運営会議で周知する.  
提案者は, 10/20(金)までに役員会へ案を提出する.  
学会の公募受付は10月下旬~11月上旬.

#### 企画セッション

「メタ視点から探る階層ダイナミクスの新展開」(略称 メタ階層ダイナミクス)  
提案者: 小林 進二, 加藤 雄人, 後藤 基志  
期間: 2024年春季大会より4回(申請によりさらに4回の延長が可能)  
企画セッションは他領域との合同も可能である.

- 6) 領域委員会（2023年5月29日）の報告  
新領域「計算物理」について  
資料 pp.10-11 参照。各領域の意見を11月の領域委員会までに集約する。
- 7) 領域2での確認事項  
以下の事項について確認した。  
○ Plasma メーリングリストの運用  
○ 学生優秀発表賞  
受賞回数を2回に制限することを周知するため、登壇申込みフォームに注意書きを追記する。領域2独自の規則であり他領域での受賞には影響しない。  
○ シンポジウム、招待講演  
○ シンポジウム等での online 登壇
- 8) 講演数の推移  
95件  
企画セッションが始まれば増える可能性がある。シンポジウムの開催など、講演数増加の対応を検討したい。
- 9) 概要集提出率  
概要提出率は 91/95 (95.7%)  
他領域と比較して特に問題ない。
- 10) その他  
懇親会  
日時：9月17日（日）18:30～  
会場：仙台キッチン（仙台駅東口）

**NIFS 一般共同研究の申請について**

毎年、学会以外の時に役員会等を開催するための旅費を申請している。今年度分は用途を検討する。来年度以降も継続申請する。

以上